

あすどっく
(ASDoQ : Association of System Documentation Quality)

システム開発文書品質研究会

■ 設立 2011年7月11日

■ 目的

1. 開発文書の品質の定義
2. 開発文書の品質を測る方法の研究
3. 開発文書の品質を向上させる方法の研究

■ 活動

- 大会(1回/年), ワークショップ(1回/年), 研究会(3回程度/年)
2017大会テーマ: 文書品質にとって技術とはなにか~文書品質から開発技術を見直そう~

■ 特徴

- 参加費無料
- 会員の多様性. 業務や専門領域は異なるが, 全員が, 文書品質に関心を持つ

➤ 会員数

- ▶ 法人: 20社
- ▶ 個人: 157名

(2017.11現在)

<Web> <http://asdoq.jp/>

<E-mail> secretariat@asdoq.jp (事務局)

代表幹事	山本雅基	名古屋大学
アドバイザー	高田広章	名古屋大学
アドバイザー	田丸喜一郎	IPA/SEC
アドバイザー	山本修一郎	名古屋大学
アドバイザー	清水吉男	(株)システムクリエイツ
幹事, 事務局長	藤田悠	長野工業高等専門学校
幹事	栗田太郎	ソニー(株)
幹事	小林直子	エプソンアヴァシス(株)
幹事	塩谷敦子	(同)イオタクラフト
運営委員	粕渕清孝	(株)SCREENアドバンスシステムソリューションズ
運営委員	奈良慶之	(株)ベリサーブ
運営委員	森川聡久	(株)ヴィッツ
会計監査	中澤達夫	長野工業高等専門学校

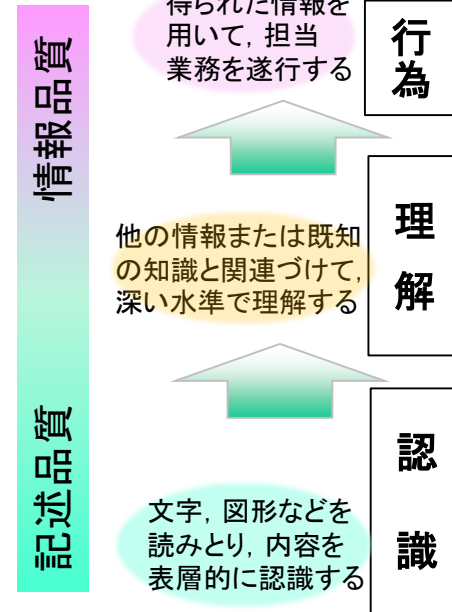
システム開発文書品質の定義

品質モデルの
利用シーンを
ポスターにて
紹介しています

読み手が開発文書を取り扱う段階に応じて、品質特性を定義。



システム開発文書品質モデル(Ver.1.0a)



品質特性	説明	品質副特性	測定項目 (例)
(1)完全性	開発に必要な十分な情報が記載されていること	合目的 正確 妥当	読み手の明示 技術が正しく実現可能 許容範囲で開発可能
(2)論理性	論理的に整合がとれていること	無矛盾 一貫 構造	項目間の矛盾がない 理由または根拠の明記 階層が合理的
(3)理解容易性	理解しやすいこと	非曖昧性 関係	複数の解釈が成り立たない 参照先を正しく明示
(4)可読性	読みやすいこと	簡潔 統一 表記工夫	一文一義 視点の統一 箇条書きを適切に使用
(5)規範適合性	記述が文法や規則に則していること	文法適合 記法適合 基準適合	誤字脱字がない 箇条書きのルールに適合 テンプレートに準拠

■ システム開発文書品質モデルのシート (ポスター展示エリアにて配布中, ダウンロード可能)

➢ <https://asdoq.jp/research.html>

■ 品質モデル概要と試行した課題の掲載論文

➢ 「システム開発文書品質モデル活用への取組み」 情報処理学会デジタルプラクティス Vol.8 No.2 (Apr. 2017)
<http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html> (閲覧無料)